令和３年度　第１回伊勢原市環境対策審議会　会議録

〔事 務 局〕　環境対策課

〔開催日時〕　令和３年１０月１２日（火曜日）午後３時から４時１５分まで

〔開催場所〕　伊勢原市役所　３階　全員協議会室

〔出 席 者〕

（委　員）小川委員（会長）、武藏委員（副会長）、村井委員、髙橋委員、小宮委員、宮垣委員、濵田委員、定永委員、木村委員、森本委員、立道委員、新谷委員

（事務局）石田経済環境部長、田中環境対策課長　外２名

〔公開可否〕　公開

〔傍聴者数〕　０人

〔審議の経過〕

１　開　会

２　部長あいさつ

３　議題

（１）第二次伊勢原市環境基本計画　令和２年度報告について

事務局より第二次伊勢原市環境基本計画　令和２年度の目標達成状況について説明の上、進捗状況等について審議された。

（２）その他

事務局より、環境基本計画の改定について説明された。また、国民運動「ＣＯＯＬ ＣＨＯＩＣＥ（クールチョイス）」普及啓発事業に取り組んでいることが報告された。

【意見等】

（委員）いせはらの環境資料編２ページの「光化学オキシダントの状況」について、環境基準を達成していないということでいいのか。

（事務局）環境基準を達成していないということで間違いない。

（委員）木育（もくいく）という木に親しむ内容を環境教育にいれてはどうか。地元の木材を使用した独楽づくり等を行っている。

（事務局）環境学習のメニューとして検討していきたい。

（委員）年次報告書１８ページの「公害苦情件数の低減」について、在宅時間の増加により普段感じることのない騒音や悪臭等により増加したとあるが、もう少し詳しく説明が欲しい。

（事務局）新型コロナウイルスの影響で、日中の在宅勤務が増えていることにより、隣の畑の野焼きや解体工事など、普段気が付かない事象が苦情として顕在化している。

（委員）平成３０年から悪臭の苦情が多くなっているようだが、原因は何か。

（事務局）野焼きによる悪臭が主な原因である。

（委員）苦情の根本的な原因を無くすような指導は実施しているのか。

（事務局）法律の規制があるものについては適宜指導をしているが、法律の規制が及ばない苦情もある。そういったものについては、周辺への配慮を依頼する等の対応となる。今後、環境基本計画で苦情の件数を進捗することについては検討の余地があると考えている。

（委員）農薬の適正な使用も指導しているのか。

（事務局）法律の規制に合わせて適切な使用を周知している。

（委員）年次報告書３８ページの「歩行空間に関する道路整備の延長」について、大きな道路は整備が進んでいるようだが、地区によっては、停止線などの白線が消えている道路がある。安全確保の面からも改善をした方がいい。

（事務局）担当課に申し伝える。

（委員）今年熱海で大規模な土砂災害があったが、市内に同様な災害に繋がりそうな場所はあるのか。

（事務局）熱海の場合は、土砂に産業廃棄物が混ざっていたこともあるが、５０メートル近くの高さに積み上げられていたことが大きな原因であったとの報道がされている。本市の土地の埋立て等の規制に関する条例では、高さは１０メートルまでと規制している。熱海と比較して、規模が異なるが、市内の埋め立ての状況については注視をしている。

（委員）年次報告書２５ページの「資源化率の向上」について、せん定枝等の再利用によって得られた堆肥の質や量はどのような状況か。

（事務局）資源化事業者は２事業者あり、１事業者は全量をマルチング材に、もう１事業者は半量程度を堆肥にしていると聞いている。また、回収時に収集員が再利用可能かを確認した上で回収しているので、質については問題ないと考えている。

（委員）資源化されたものがどのように活用されているのか、また、市民目線で、具体的にどういった努力をすれば資源化が促進されるかということを目に見える形で打ち出してはどうか。

（事務局）廃棄物の担当課に申し伝える。

（委員）年次報告書１６ページの「河川 BOD 環境基準の達成」について、BOD は環境基準を達成しているとのことだが、他の重金属や大腸菌などの項目はどうか。

（事務局）重金属については環境基準内に適合している。大腸菌については、採水場所やタイミングで数値は異なる。また、浄化槽の塩素消毒が不足していることが原因の場合もあるので、合併処理浄化槽への設置補助と合わせて、適切な維持管理の指導を行っていきたいと考えている。

（委員）年次報告書２４ページの「焼却対象量の減少」について、食品ロスの動画とはどのようなものか。

（事務局）買い物から片付けまでに発生する二酸化炭素を極力抑える調理方法「エコ・クッキング」について動画を作成し、その中で食品ロスについても触れていく予定である。

（委員）貧困対策としてのフードバンクなど、もっと市民を巻き込む形で、常時募集を検討してみてはどうか。

（事務局）昨年度、本課の窓口でフードドライブの受付を行ったが、多くの寄付を頂けたことから、かなり浸透している印象を受けた。常時募集については、衛生管理等の問題があるので、担当課に申し伝える。

（委員）年次報告書３４ページの「荒廃農地整備面積の増加」について、担い手不足の問題もあると思うがどのように考えているか。

（委員）農業振興地域整備計画でも、担い手不足は課題として認識されている。現状を把握する意味でも、ワンストップ窓口等の制度を設けながら支援をしている。平塚では、荒廃農地にしないための取組に力を入れている。

（委員）年次報告書１４ページの「電気自動車の市内普及台数の増加」について、神奈川県内の工業製品で使える「かもめクーポン」や環境省の補助金を是非、電気自動車の購入に活用頂きたい。今後、軽自動車の電気自動車も販売されるので、価格的な負担も軽くなってくると考える。

（委員）年次報告書２１ページの取組の柱「健康で安全な暮らしを守る」の中で、放射線についての記載がある。現在、市で測定等を行っているのか。また、測定機器を保有しているのか。

（事務局）東京電力の原子力発電所事故以降、市内の小中学校等で空間放射線の測定を委託にて行っていたが、健康に影響がない水準が続いたことから平成２９年をもって、市における測定は休止した。現在は神奈川県が市内の測定を行っているが、その測定値で異常が確認されれば、測定の再開等を検討していきたいと考えている。

（委員）バスの小型化は検討しているのか。

（委員）小型化をしても乗務員等の人件費は変わらないので、運用していくのは難しいと考えている。

４　閉会